

熊楠ワークス

KUMAGUSU WORKS

発行所
南方熊楠邸保存顕彰会
和歌山県田辺市湊1619-8
田辺市民総合センター3階
田辺市教育委員会文化振興課内
TEL.0739(22)5300(代表)

CONTENTS

- 1面 南方賞受賞講演
- 2面 熊楠の酒宴を再現
- 3面 田辺新地の今昔
- 4面 熊楠の昆虫標本を復元
- 5面 普段着の南方熊楠①
- 6面 熊楠ゆかりの地⑩
中瀬喜陽氏
- 7面 ひき石群の生きものたち②
後藤 伸氏
- 8面 南方ゼミナール開催

「学問には独創性が重要」

南方賞受賞講演で加藤氏



「学問には独創性が重要」と、南方賞受賞講演で加藤氏

第九回南方熊楠賞の授賞式が去る四月十七日、田辺市内のホテルで行われ、ユーラシアの歴史民族学研究で功績があった加藤九祚氏(76)に国立民族学博物館名誉教授に脇中孝・南方熊楠邸保存顕彰会会長(田辺市長)が賞状と副賞、トロフィーを贈りました。

授賞にあたって脇中会長は「ユーラシアの民族考古学の分野で実証的な研究を続けてこられた加藤さんに深く敬意を表します」とあいさつ。続いて、米山俊直・人文の部選考委員長が授賞理由を発表しました。

受賞に当たって加藤氏は「南方先生に最も心を打たれたのは、研究への努力を続けた姿勢です。南方先生の名を冠した賞をいただけるのは夢にも思いま

せんでした。その名譽を汚さないように余生を送りたいと思います」と謝辞を述べました。

南方熊楠賞を受賞した加藤九祚氏の記念講演が授賞式に続いて行われました。演題は「中央



脇中会長(左)から南方賞を受ける加藤氏(4月17日、田辺市内のホテル)

アジア仏塔(ストゥーパ)の起源とその変容」。加藤氏が発掘に携わっている、ウスベキスタン共和国・テルメズ仏跡発掘調査の概要について説明がありました。

講演に当たって加藤氏はまず、長年の研究生活を振り返りながら、「出版社の仕事を通じて多くの同僚や先生方と知り合

けない」と強調しました。

テルメズの遺跡は世界的な仏跡で、昨年春の調査開始直後に大ストゥーパが発見されました。同調査は民間グループの支援を受けた私費調査となっており、ことから、今後の発掘や遺跡の保存にさらに多くの人たちの協力が必要だということです。